

# の異業種座談会\*

## \*すすき コロナに負

# けず、舞台裏で 華やかなネオンを 支え続けていきたい

### 出席者

- すすきの市場振興会(市場) 会長 平島 多九さん  
 ワタシヨウ(株)(酒屋) 会長 渡邊 正一さん  
 きものブティック「ヴァン」(貸衣装) オーナー 川口 園子さん  
 ラテン美容室(美容室) オーナー 難波 恵実さん



▲左から平島、難波、川口、渡邊のみなさん

華やかなネオンを陰で支えるのが市場や酒屋、美容室、貸衣装などの人たちである。彼らはネオンの舞台裏で、すすきのをどう捉え、どう生きてきたのか――。

そこで長年、すすきで働いてきた4人に、ネオン街の今昔やコロナ禍などの喜悲(きひ)もこもについて語ってもらった。  
(ジャスマックプラザホテル「ジョイルーム」で収録)

「とりあえずビール」が  
宴会でなくなった…

――今と昔ですすきの変わった点は、ありますか。

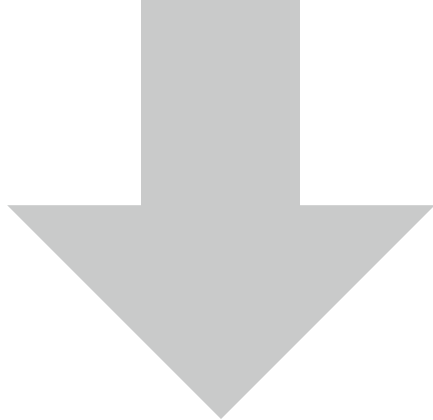
**渡邊** 私がワタシヨウで酒屋を始めたのが1994年で、その頃はバブルが崩壊したとは言え、飲食店は4500軒ぐらいいました。いまは3500軒程度だと思っています。

当時は30、40代の元気なママが店を切り盛りしていましたが、そのママも高齢になってリタイアする例が目立っています。軒数が減った背景にはコロナ禍もありますが、客もママも高齢になったことがあると思います。

**平島** 私が社会人になったのがちょうどバブル崩壊の時期でしたが、その頃と比べて人の動きが半分ぐらいになりましたね。当時は通行人同士の肩がぶつかるくらい混んでいた記憶があります。

**川口** そう。当時はすすきの交番前の交差点は、通行人で渋滞していた渡るのが大変でした。

**難波** 私が美容室を始めたのは20年前ですが、



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を  
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから  
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

**TEL 011-644-0101**

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)